

学園ニュース

富山大学

NO.77

編集 学園ニュース編集委員会 発行 富山大学学生部

平成4年9月30日



ヨット部の練習風景

(写真：教育学部 長井真隆)

目次

愛され、憎まれるクルマ

学生部長 増田信彦・・・1

ケンブリッジ大学紹介

経済学部助教授 新里泰孝・・・2

肩関節障害予防の観点からみた

バレーボールのスパイクフォームの分析

(代表) 教養部助教授 北村潔和・・・4

留学生雑感

外国人留学生(経済学部) 張燕琴・・・6

トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

学生サークル紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

平成4年度大学説明会・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

学生部だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

保健管理センターだより・・・・・・・・・・・・・・ 17

卒業生だより

昭和60年経済学部卒業 坂田昌弘・・・19

愛され、憎まれるクルマ

学生部長 ^{ます}増 ^だ田 ^{のぶ}信 ^{ひこ}彦

我々が日常生活において使用するものの中で、クルマほど大いに役立つと同時に、多大な被害を及ぼすものも珍しい。クルマは自分が好む時に好む場所へ自由に、しかも高速で行くことができるという点で、最も便利な乗物である。その際、個室性をもっているため、他人を気にしないですむことがクルマの快適性を更に高めている。これらがクルマが大多数の人々により利用され、愛されている主な理由である。多くの若者にとっては、この便利性、個室性、そしてスピードに対するあこがれなどから、デートの必需品となっていると言われている。

他方、クルマは多くの被害や迷惑を引き起こしている。我が国では交通事故により毎年1万人以上の方が死亡し、何十万人の方がけがをしている。また、排気ガスの中の窒素酸化物、一酸化炭素、炭化水素などが大気汚染を引き起こし、また沿道住民には騒音・振動などの被害をもたらしている。更に、エネルギー消費において、乗用車は1人の人を一定の距離運ぶのに、大衆交通機関に比べて数倍の有限な石油を消費し、従って数倍の二酸化炭素を排出して地球温暖化に寄与していると言われている。

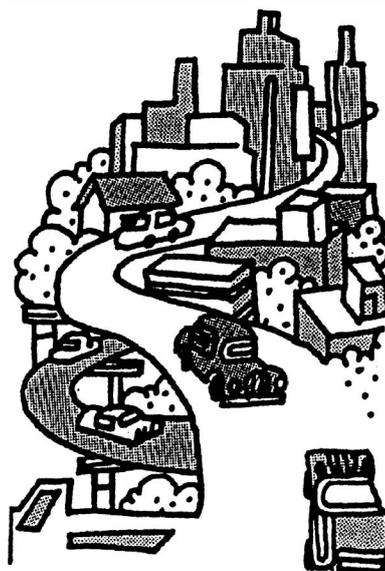
通常、このように多大な被害をもたらすようなものは、使用が禁止されたり、制限されることが多いのであるが、クルマの場合、社会的便益があまりに大きく、社会の中に深く組み込まれているため、そのようなことはしないで、人とクルマの共生をはかっている。というのは、使用の禁止や制限のようなことをすると、豊かな生活自体が成り立たなくなることが予想されるからである。

クルマについて特に問題なのは、クルマから得られる便益はその使用者だけがエンジョイするのに対して、その被害はほとんど第三者が被ることである。そのため、便益にあずからない人々から

クルマは嫌われ、憎まれることになる。

富山大学における交通事故に限っても、この5年間に6人の学生が亡くなり、それ以上の数の人を死亡させたり、後遺症の残るようなけがをさせている。これらの多くは学生側の無理な運転や油断などの過失によって引き起こされたものである。将来を期待される大学生が交通事故で若い生命を落したり、あるいは交通事故が原因で、肉体的・精神的・経済的負担に耐えられず、学業を続けられなくなることは、誠に悲惨で残念なことである。

若い時の過ちの中には、「若げのいたり」で済まされることもあるが、交通事故は生命や一生の問題になることが多く、起きてからでは遅過ぎることになる。好きなクルマで引き起こされた事故が原因で、ドライバーやクルマが憎まれることにならないように、安全運転をしてほしいものである。



ケンブリッジ大学紹介

経済学部助教授 新 里 泰 孝

1989年9月下旬から1991年3月下旬までの一年六ヶ月、英国ケンブリッジに、経済学研究のため、ケンブリッジ大学経済学部の客員研究員として滞在した。初めの10ヶ月は文部省在外研究員（若手）として、残りの8ヶ月は私費海外研修である。帰国後1年半余り経ち、話題が古くなるがお許し願いたい。

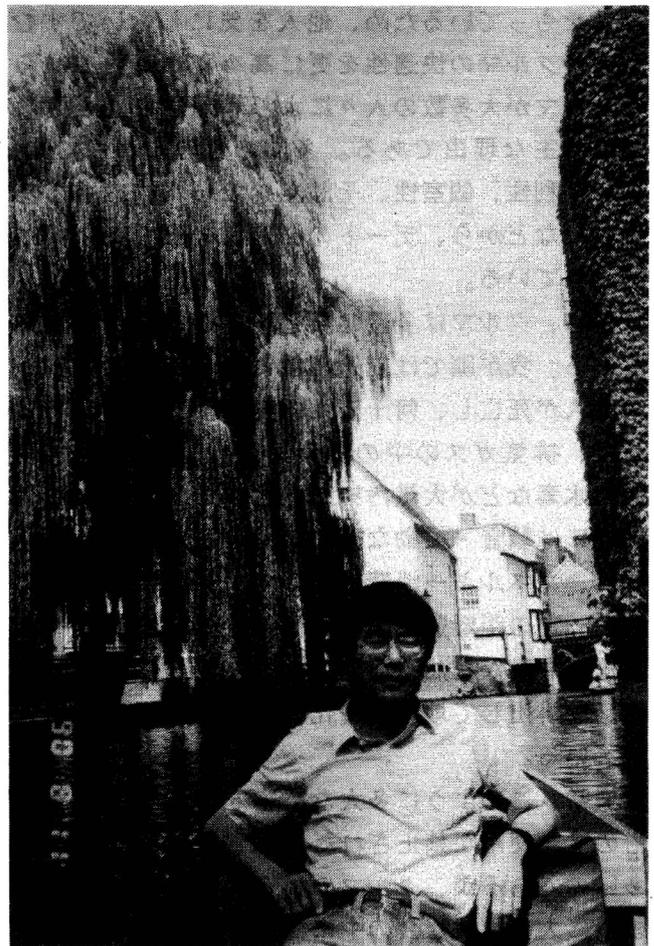
ロンドンから北へ80マイル、快速電車で1時間の距離にあるケンブリッジは、オックスフォード同様、中世からの教会やカレッジが並ぶ古い大学都市である。人口は10万。大学の創立は14世紀と言われている。

私は学生として留学した訳ではないので、学生生活を体験してはいないが、学業面での学生生活の観察を紹介したい。

大学の学生数は約1万5千、教員数は1千200。1989年末で、学部生9,549人、大学院生5,015人。学部生の8,9割は英国籍であるが、大学院生の4割は外国籍。外国人ではアフリカ、インド、南アメリカ、中国、韓国の人が多い。大学の制度は日本とかなり異なる。学部の修了年限は3年、大学院は博士課程3年である（修士1年の課程もある）。3学期制で、10月1日から12月19日までの秋学期（Michaelmas Term）、1月5日から3月25日の冬学期（Lent Term）、4月10日から6月25日までの春学期（Easter Term）がある。

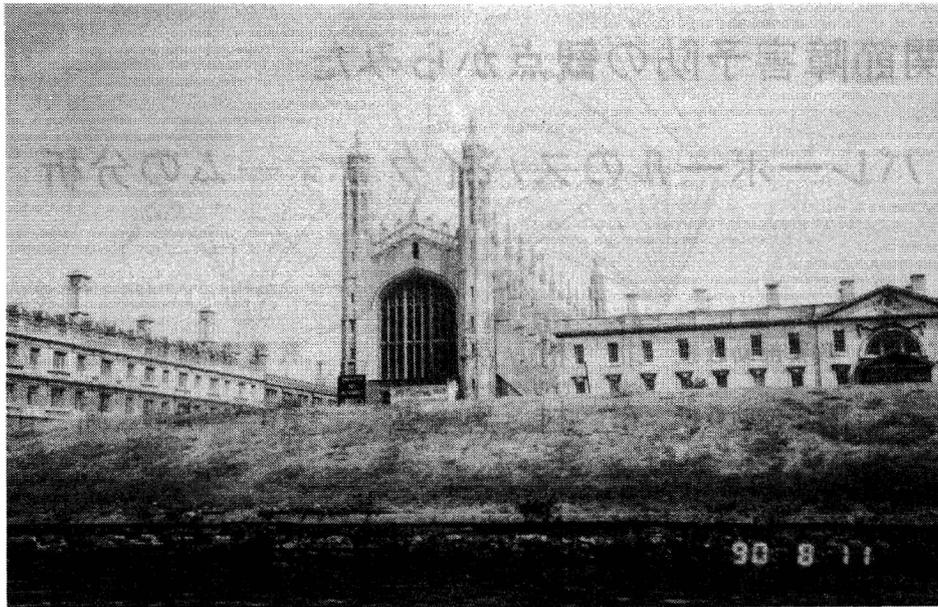
ケンブリッジ大学はカレッジ制と学部制の複合体である。キングズやトリニティなど30ほどのカレッジがある。学生や教員はいずれかのカレッジに所属している。かつては一つのカレッジ自体で一つの大学のように、文学から医学まで様々な科目を教える教育機関であったが、今日では寄宿舎あるいは学寮であり、食事と社交の場である。教育・研究は学部・学科で行われている。教員の研究室もほとんど学部にある。21の学部（Faculty）と50以上の学科（Department）があるが、学部の

下に学科があるという構成は必ずしもとられていない。Departmentと言っても日本でいう研究所の所もあり、また学部並の教育機能を持つ所もある。実際、私が所属していた経済学部（Faculty of



大学校内を流れる Camriver

Economics and Politics)には付属のDepartment of Applied Economyがあるが、経済研究所であって、授業を行う機関ではない。Department of Land Economyという独立した学科では、学部同様の教育機関で授業を行っている。またInstitute of Management Studies (1990年創設)はFaculty of Engineeringの下にあるが、教育機関である。



Kings' College のチャペル

学生は専攻する学部・学科に行って授業を受けるが、カレッジ内では様々な専攻の学生と付き合うことになる。また教員であるTutorに生活と勉学の全般的指導を受ける。

各学期は2ヶ月半あるが、授業期間 (tull term) は秋と冬学期が8週間、春は4週間の授業と2週間程の試験期間である。授業時間は1コマ60分で休み時間がない。教室移動の時は廊下が満員電車並にごった返しになる。

授業は講義 (lecture) とスーパービジョン (supervision) の2種類がある。経済学部 (1学年は約170人) の講義は大教室 (300人から100人用) で行われ、私が聴講した講義では、先生が一方向的に講義し、学生はほとんど質問することもなく非常に熱心にノートをとっている。おもしろいことに、黒板消しは濡れ雑巾を使い、一度黒板を消すとしばらくは白墨が使えない。教師の服がチョークで汚れないので、かえって良いのかも知れない。たいていの講義は次第に学生が減って、学期半ばには半分になってしまうのは日本と変わらない。

スーパービジョンは日本の演習、ゼミにあたる。教員あるいは大学院生が先生となり、学生は1から4人である。内容は講義に関係する補習やディスカッション、卒論指導。毎週レポートやエッセイの提出が要求される。3から4個のスーパーヴィジ

ョンを取るようである。

平均的な学生生活は、カレッジから自転車で学部に行き、午前 (9時から1時まで) は講義、昼食のために一時カレッジに戻り、午後は図書館で学習し、スーパービジョン、あるいは、サークル・クラブ活動。夜はカレッジで食事。カレッジにはチャペル、ホール、バー、遊技場もある。学期中はものすごく勉強させられるが、休みには荷物をまとめてカレッジを出なければならない。

ところで、1年半の英国滞在でもっとも良い経験は、ポンドと円の為替レートの変動である。1989年春は円高傾向で1ポンド=220円台になったが、秋以降円安に向かい、翌90年7月頃には1ポンド=280円。やがて円は回復し、帰国後91年5月には230円代に戻った。英国のインフレは年率10%。為替レートが2割円安となったので、実質、3割ほど貧乏な生活を経験することになってしまった。

富山大でも留学生が急増しているが、昨今の為替の上下には身を削られる思いをしていると察する次第である。



肩関節障害予防の観点からみた

バレーボールのスパイクフォームの分析

(代表) 教養部助教授	きた 北	むら 村	きよ 潔	かず 和	教養部講師	とり 鳥	うみ 海	きよ 清	し 司
教養部助教授	ぬの 布	むら 村	ただ 忠	ひろ 弘	教育学部助教授	ほり 堀	た 田	とも 朋	き 基

高速度ビデオカメラ装置で比較的手軽にスポーツ動作を撮影することができるようになったことや、コンピュータの普及によりそれを力学的に解析することが容易になってきたことから、様々なスポーツ動作が解析の対象になってきた。本体育研究室においても、はやくから高速度ビデオカメラ・コンピュータシステムを導入し、スポーツ動作の解析を試みてきた。

これまでにバレーボールのスパイク動作及び野球、ハンドボール、バスケットボールの投球動作について、スピードのあるボールが打てる、またはスピードのあるボールが投げられるフォームについて、力学的側面から検討を行ってきた。

このような運動のパフォーマンスを高める動作の研究を進めていくうちに、野球のようにボールを投げる動作やバレーボールのようにボールを打つ動作の多い種目では、肩関節に障害を持つ選手の多いことに気が付いた。しかし、障害の予防といった観点からスポーツの動作を検討した報告は少ない。

バレーボールでの肩関節障害の多くは、スパイクの繰り返しによって起こる。その要因はオーバーユースや肩関節の生理的な機能にそぐわないフォームでの練習などが考えられる。これまでに、スポーツドクターによって、スパイクのフォームは大きく2つに分けることができ、この内の1つのフォームは肩に負担が大きく障害を起こしやすいと指摘されてきたが、それを確かめた報告はみられない。

本実験では、バレーボールの2つのスパイクフォームを力学的に解析し、肩関節にかかる負担を検討

した。

被検者は大学女子バレーボール部員13名である。スパイクフォームを撮影するため、6人制バレーボールコートで直上トスを上げ、ストレートコースへボールを打たせた。撮影はネットに平行した位置より、高速度カメラで毎秒100コマで行った。

後の解析が容易になるよう被検者の右上肢の肩峰、肘頭、茎状突起、中手指関節及び指先にマークをつけた。

解析にあたっては、先ずフォワードスイング開始からボールインパクトまでの上肢の各部位（肩、肘、手首、手根、指先）の座標を読み、上肢のスティックピクチャーを作成した。これにより、各部位の変位を求め、中心差分法を用いて微分することにより接線方向の速度を算出した。速度を算出した時点でデジタルローパスフィルター（カットオフ周波数：16Hz）を用いてデータを平滑化した。データの平滑化及び各種力学的変量の算出には、パーソナルコンピュータ（PC-9801F, NEC）を用いた。

スイング動作中の力学的変量は、Winterの方法に従い、上肢を上腕、前腕、及び手の3分節から成るリンクセグメントモデルに置き換えて算出した。

本研究では、各個人の試技の中で最も速いボールスピードが得られた試技を解析した。スパイクのフォームは図1に示したような2つに分けることができた。図1は典型的なスパイクフォームのスティックピクチャーを示したものである。Aはバックスイングが肘から行われ、バックスイング

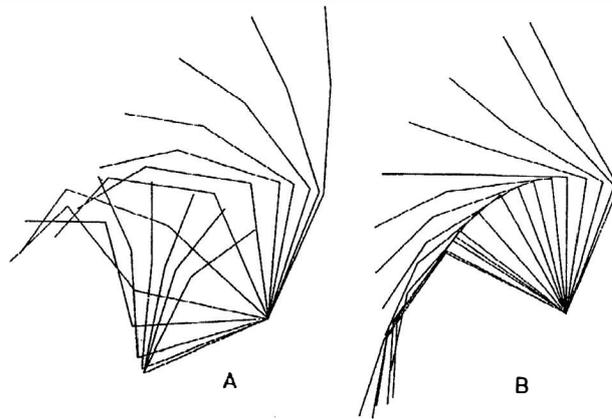


図1. 典型的なスパイクフォームのスティックピクチャー

の終了時点では肘よりも指先が前方にあるフォーム、Bはバックスイングが指先から行われ、バックスイングの終了時点では、指先が肘よりも後方にあるフォームである。

図2は、肩、肘、手首の関節トルクをバックスイングからインパクトまでについて示したものである。肩にかかるピークトルクは、A：44.05±6.04Nm、B：30.86±5.83Nmであり、Aが有意に

トルクの1/2以上を出す最小の肩の角度、A：272±13°、B：208±10°であり、Aが大きかった。

フォワードスイング開始時の慣性モーメントは、A：0.191±0.053kg m²、B：0.319±0.057kg m²で、Bが有意に大きかった。

これらの結果は、Bのスパイクフォームは、大きいトルクが発揮できない肩関節角度において、大きいトルクの発揮を余儀なくされるフォームであることを示しているものと考えられる。また、フォワードスイング開始時の慣性モーメントが大きいことは、肩関節の過伸展を引き起こすことも推測される。

フォワードスイング開始時の慣性モーメントが小さく、大きいトルクが発揮できる肩関節角度で、フォワードスイング時のピークトルクの発揮されるフォームが、肩関節の負担を小さくするものと考え、バレーボールのスパイクを指導する場合には、Aのフォームを獲得させるように指導することが、肩関節障害の予防につながるものと考えられる。

また、Aフォームを獲得させるには、バックスイングにおいて手首を背屈させないで、手首を屈曲させた状態で肘を後ろへ引くように指導することによってできる。

このような結果を指導の現場へ還元することによって、スポーツ障害が予防できるものと考えられる。

さらに、男子を対象に、スパイク動作を2台の高速度ビデオカメラで2方向から撮影し、3次元解析を行っている。解析が終われば、肩関節の複雑な機能をさらに詳細に検討できるものと考えられる。

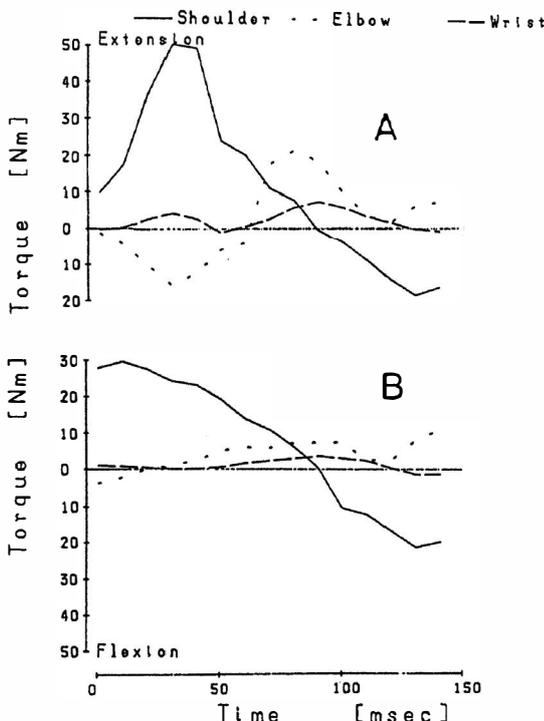


図2. フォワードスイング開始からボールインパクトまでに、肩関節、肘関節、手関節で発揮されるトルクの変化

大きかった。ピークトルクが現われた肩の角度(鉛直線と上腕のなす角度)は、A：283±18°、B：231±13°であり、Bが有意に小さかった。ピー

富山に来ての感慨

外国人留学生（経済学部経営学科）張

イー キム
燕 琴

日本に来て、もうそろそろ3年半に近くなろうとしています。日本に来たばかりの時、日本人の習慣、食生活、言葉などになれていない私にとってとても大変でした。初めの一年間に日

本学校に通って日本語や基礎科目などを勉強し、先生方と友人達は精神的に支えてくれました。やっと無事に富山大学に合格することができました。



カップに絵を書く張さん

感謝したい気持ちがいっぱいです。

大学に入学してから、円高の傾向がますますひどくなってきて、自費で勉強してきた私にとって大きな影響が与えられました。そして当時の私はアルバイトをしながら一生懸命勉強しました。一方、留学生の私たちは、授業料の免除と奨学金のことを一番心配しています。けれどその心配にもかかわらず勉強することができました。本当に感謝します。富山では都会より確かにすみやすいところです。更に、生活費がやすい、空気がきれいで人間も親切、いつも私の心を温めました。それに富山大学には様々な施設があり、良い環境だと思います。そして、毎年、国際交流のパーティが開催されて富山県の人と心から交流して国際理解を深めています。振り返って、

富山に来て本当に良かったと思うことがたくさんあります。それは富山の豊かな自然だけでなく、地元の人々が優しく、その上、日本古来の富山県の伝統行事にも私たちを招いてくれます。去年から、学内の先生方は一泊二日大山町粟巣野スキー場で留学生とのスキー交流会を開催され、あの時の情景は心に強く印象を残しました。特に、アジアからの留学生の私たちは冬のスポーツを一度もやったことがありませんが、実際にやってみると楽しくて頑張りました。そのほか、葡萄狩り、茶道、和紙の作り方なども心温まる思いです。このようなゆとりを持った生活が出来て、学業の方も皆のペースについて行けるということは地元大学ならではのことでないかと思っています。文化と習慣の違う日本で、大都会の東京や地方の富山の生活を両方体験できて、自分の人生に大きなプラスとなることでしょう。

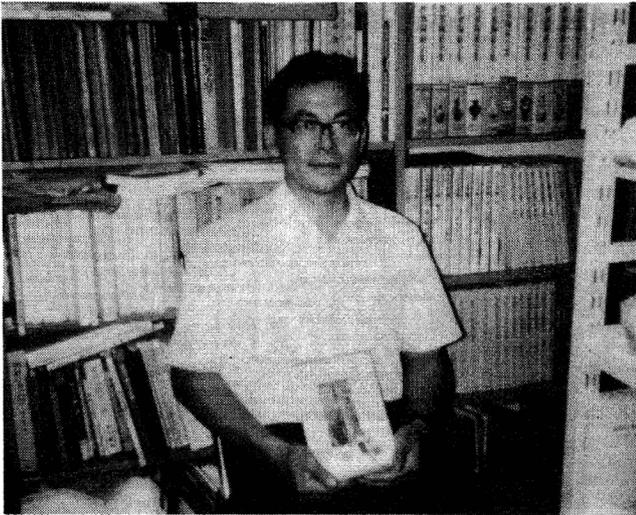
今年私は三年生になり、ゼミの専攻は管理会計です。毎週一回武協先生（指導教官）から授業を受けています。そして、日本人の友達もたくさんでき、同級生と仲良くなりました。また、留学生の代表としていつも学生課の皆さんにお世話になり心から感謝します。また、日本にいる時間が2年しか残してないのでこれからも精一杯、頑張ります。



粟巣野スキー場での交流会

人文学部 宇野隆夫助教授

第1回「雄山閣考古学賞」特別賞を受賞

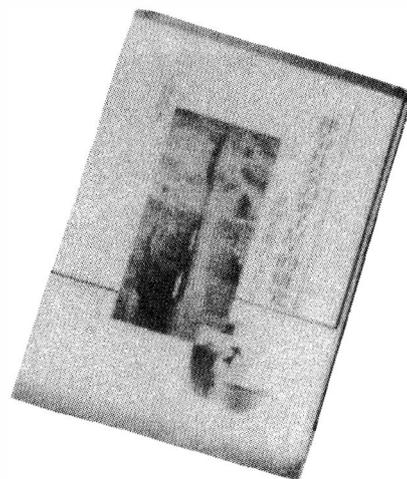


受賞した本を手に

このたびの受賞に際し、「今回の仕事は、いろいろの材料から古代北陸という地域の独特な性格と日本社会での役割を考えたものです。このような地味な地域研究に賞が与えられたのは、地域から日本社会を考えた部分が評価されたのだと思います。歴史の研究対象（考古学は歴史学の一分野です）は、一つの課題から無限に広がっていきます。今後も多くの方々と協力して仕事を進めていきたいと思っています。」と語っておられます。

考古学関係の雄山閣出版が、創立75周年を記念して「雄山閣考古学賞」を制定し、その第1回の特別賞に人文学部宇野隆夫助教授の著書「律令社会の考古学的研究 ー北陸を舞台としてー」が選ばれました。

同書は、これまで北陸四県で発掘調査された律令時代の遺跡、遺物に関する研究を土台に、『集落』『埋葬』『生産と流通』『食器』の4つの柱を設け、相互が有機的なつながりを持って変化していることを解明し、律令社会の特色を大きな視点でとらえたものです。考古学的資料の集成と分析を中心として律令社会の実像を意欲的にあとづけ、一貫して考古資料によって歴史の実態を把握する方法を展開してきている点で高く評価されました。



「律令社会の考古学的研究」

宇野隆夫 著



富山大学軽音楽部(MMS)「ラブ&ピース」敢闘賞

伊藤 昇君(工学部4年)最優秀ソリスト賞に!!

学生ジャズバンドの祭典「第23回ヤマノ・ビッグバンド・ジャズコンテスト」が全国の大学などから45グループが出場して、東京の日本青年館で開かれ、本学軽音楽部(MMS)の「ラブ&ピース」が敢闘賞を受賞しました。また、個人賞部門でもドラムスの伊藤 昇君(工学部4年)が昨年の優秀ソリスト賞に続き、本年は最優秀ソリスト賞に輝きました。

「ラブ&ピース」ジャズオーケストラは、20名余りのバンド員を抱える大所帯のバンドでありながら北陸三県の大学とともにコンサートを開いたり、毎年2月には、リサイタルを開くなど活動は精力的で、今回の受賞によりバンド内の意気はますます高まっています。

活動母体である富山大学軽音楽部(MMS)は、音楽に対し情熱を傾ける、約80名の部員からなる部で、12のバンドに分かれ日々練習にコンサートにと活発な活動を行っています。



最優秀ソリスト賞に輝いた伊藤君

コンサートは、MMS主催のものと富山県内の6大学の軽音楽部によって作られている団体(軽音連)が主催するものがあり、月1~2回学生会館大ホールやマリエのオルピスで行っているが、11月7日にはオルピスに於いてMMS主催のコンサートを開く予定です。また例年1月には、県民会館大ホールに於いて定期演奏会を開催しています。

練習は、月曜日から土曜日の午前9時~午後7時まで学生会館野大ホールで行っています。また、夏休みには、技術向上を目的に長野県で一週間の合宿を行っています。

部員たちは、定期的なコンサートのほかに、より幅広い活動を行い、より多くの人々に演奏を聴いていただこうと練習に励んでいます。



コンテストで熱演中の「ラブ&ピース」

空 手 道 部

こんにちは。富山大学空手道部です。我々のクラブは、今年新入部員が9名（内女子が4名）入り、計20名となり、活気のある、いい雰囲気となっています。

さて、ここではさる7月12日に金沢で開催された、北陸地区国立大学体育大会について報告したいと思います。金沢総合体育館第2競技場で行なわれた空手道の試合は、富山大学、金沢大学、福井大学、富山医科薬科大学、福井医科大学の5大学で争われました。団体戦緒戦は、福井医科大学。4対

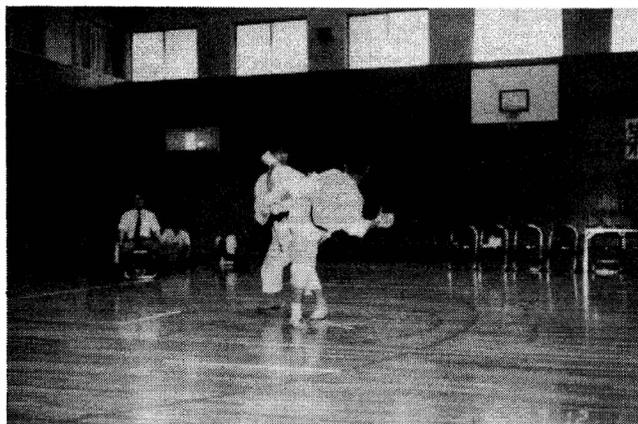
1と、緒戦を危なげなく勝ち抜き、波に乗った我々は、その勢いで2回戦、福井大学戦を4対1、3回戦富山医科薬科大学を5対0、4回戦、金沢大学を4対1で破り、昨年に続き、みごと優勝を決めたのでした。

続いて、個人戦です。富山大学からは、大沢、北村、石倉、加治の4名が出場しました。個人戦は、好調であった団体戦に比べて、いささか不調でしたが、大沢、石倉の両名が順当にベスト4に進出。しかし、ここで不運なことに、準決勝で、大沢対石倉の対戦となってしまいました。この対



戦、両者の突き、蹴りともに冴え、たいへん白熱した試合となりました。結果は、わずかの差で石倉が決勝へ勝ち進みましたが、準決勝のつかれがでたのか、石倉が準優勝、大沢が4位となり、団体戦、個人戦の両方を制覇することは、残念ながらできませんでしたが、それぞれが、各々の課題を見つけることができ、意義のある大会となりました。

さて、今後の我々の目標ですが、暑い夏も練習を重ねて、8月の下旬に行われる、北信越団体戦の去年に続く連覇をすることです。この大会は、一昨年まで、金沢工業大学が、十数年、連覇してきたものですが、去年、我々が、決勝を金沢工業大学と闘い、勝ちとったものです。この優勝カップを、他大学に渡さないように、がんばっていきたいと思います。これからも、我々富山大学空手道部の応援をよろしくお願いします。



「熱戦をくりひろげる選手たち」

平成4年度富山大学説明会

7月31日（金）午前10時30分から高校生を対象とした富山大学説明会を開催しました。

今年で5回目の開催となるこの大学説明会は、大学進学を目指す高校生に対して、本学への理解をより深めるとともに、大学が進路選択の情報を積極的に高校生へ提供することを目的とするもので、昨年から全学部が参加して開催されました。

今年は、暑い日差しの中を富山・石川両県をはじめ滋賀県や静岡県、山梨県からも高校生が参加するなど午前の全体説明会には530人、午後の学部説明会には600名近くの高校生が参加し、熱心に教職員の説明に耳を傾けていました。

午前の全体説明会では、学長が挨拶を通して本学の特色や魅力について語りかけ、次いで、学生部長からは、各学部の概要や学生生活、就職活動、

卒業生の活躍などの紹介があり、進路の選択にあたっては学力や偏差値にとらわれず「自分の適性や興味」を十分考慮してほしいとの希望が述べられました。

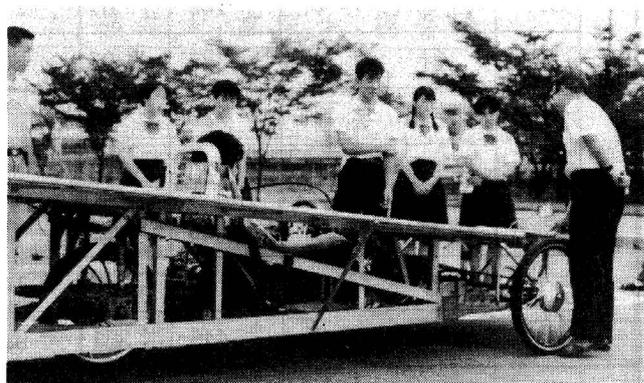
また、入試課長から平成5年度の大学入試について説明があった後、最後に大学紹介ビデオが上映されました。

午後には、学部会場での学部説明会が行われ、各学部学科（課程）の教育・研究内容等の紹介や在学生から大学生活の体験談があったほか実験室、演習室等、附属図書館や情報処理センターの見学もありました。

また、工学部では、学部学生が作成したソーラーカーの走行テストを見学する風景が見られ、午後4時頃には全日程を終了しました。



全体説明会風景



ソーラーカーに熱心に見入る高校生

学生部だより

平成5年度富山大学入学試験について

本学の平成5年度入学者選抜要項を去る7月8日（水）に発表しました。

昨年度との変更点及び入学者選抜要項の概要は、次のとおりです。

- ① 経済学部「夜間主コース」で、従来のB日程から分離・分割方式（前期日程・後期日程）に変更した。
- ② 2段階選抜は、実施しない。
- ③ 理学部（化学科及び地球科学科）で新たに社

会人特別選抜（若干名）を実施する。

「平成5年度入学者選抜要項」には、本学入学者選抜の方法、実施教科・科目、個別学力検査実施教科・科目、大学入試センター試験及び個別学力検査の配点のほか推薦入学・帰国子女特別選抜・社会人特別選抜の概要について記載してあります。

なお、入学試験の細目を記載した「平成5年度富山大学学生募集要項」は、10月上旬に発表する予定です。（入試課・入学試験係）

学部、学科・課程等及び入学定員

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員			募集人員に含まれる特別選抜の募集人員	
				前期日程	後期日程	A日程		
人文学部	人文学科		95	70	25		〔前期日程〕 推薦入学（15名） 帰国子女・社会人特別選抜（若干名）	
	語学文学科		110	80	30			
	計		205	150	55			
教育学部	小学校教員養成課程		100	70	30		〔A日程〕推薦入学（6名…理科、美術及び家庭の各専攻2名）	
	中学校教員養成課程		50			50		
	養護学校教員養成課程		20	14	6			
	幼稚園教員養成課程		30	21	9			
	情報教育課程		40	30	10			〔前期日程〕推薦入学（10名）
	計		240	135	55	50		
経済学部	昼間主ス	経済学科	159	126	33		〔前期日程〕 推薦入学（30名） 帰国子女特別選抜（若干名）	
		経営学科	124	98	26			
		経営法学科	102	81	21			
	計		385	305	80			
	夜間主ス	経済学科	20	16	4		〔前期日程〕 推薦入学（20名） 社会人特別選抜（20名程度）	
		経営学科	20	15	5			
		経営法学科	20	15	5			
	計		60	46	14			
	小計		445	351	94			
	理学部	数学科		53	46	7		〔前期日程〕推薦入学（16名） 帰国子女特別選抜（若干名）
物理学科		47	37	10		〔前期日程〕帰国子女特別選抜（若干名）		
化学科		43	33	10		〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜（若干名）		
生物学科		45	35	10		〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜（若干名）		
地球科学科		32	27	5		〔前期日程〕帰国子女・社会人特別選抜（若干名）		
計		220	178	42				
工学部	電子情報工学科		132	105	27		〔前期日程〕推薦入学（18名）	
	機械システム工学科		101	80	21		〔前期日程〕推薦入学（13名）	
	物質工学科		83	66	17		〔前期日程〕推薦入学（12名）	
	化学生物工学科		86	68	18		〔前期日程〕推薦入学（12名）	
	計		402	319	83			
合計			1,512	1,133	329	50		

◇第44回北陸地区国立大学体育大会開催される

第44回北陸地区国立大学体育大会が、去る6月14日から7月12日までの日曜日を中心に金沢大学を当番校として開催されました。

大学は、各種目とも、日頃の練習成果を十二分に発揮し、白熱した好試合が数多く見られたが、今一步力及ばず、男女合せて5種目を団体優勝であった。今後の活躍を大いに期待したい。

(団体成績一覧表)

種目		順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	
男	陸上競技		金沢大	富山大	福井大	富医大	福医大		
	野球		金沢大	福井大	富山大				
	庭球		金沢大	富山大	福医大				
	ソフトテニス		金沢大	富医大	富山大				
	卓球		金沢大	富山大	福井大				
	バドミントン		富山大	金沢大	福井大				
	バレーボール		金沢大	富山大	福井大・富医大				
	サッカー		富医大	金沢大	富山大・福井大	富医大・高短大			
	ラグビー・フットボール		金沢大	富山大	福井大	富医大	福医大		
	剣道		金沢大	富山大	富医大	福井大			
	柔道		金沢大	福井大	富山大				
	バスケットボール		金沢大	富山大	福井大・福医大	富医大・高短大			
	水泳		金沢大	福井大	富山大	富医大	福医大		
	ヨット		金沢大	富山大	福井大				
男子	準硬式野球		雨天中止						
女子	ハンドボール		富山大	金沢大	福井大				
	空手道		富山大	福医大	金沢大				
	弓道		福井大	富山大	金沢大				
	体操		金沢大	富医大					
	自動車		富山大	福井大	金沢大				
	アメリカン・フットボール		金沢大	福井大	富山大				
	女子	陸上競技		金沢大	富山大	富医大	福井大	福医大	
		庭球		金沢大	富山大	福医大			
		ソフトテニス		富山大	富医大	福井大	金沢大		
		卓球		福井大	金沢大	富山大			
バドミントン			金沢大	富医大	富山大				
バレーボール			金沢大	富山大	福井大・富医大	高短大			
剣道			金沢大	富山大	福井大	富医大			
バスケットボール			金沢大	富山大	福医大・富医大				
弓道			金沢大	富山大	福井大	富医大	高短大	福医大	
水泳		金沢大	富山大	福井大					

(学生課・学生係)

アルバイトの紹介

学生部入口の掲示板に求人票が掲示されていますので、希望するアルバイトがあれば、厚生課奨学係まで申し出て下さい。

○ 一般業種

希望する求人票の掲示番号を窓口で申し出て、申込書に所定の事項を記入することにより斡旋を受けます。斡旋を受けた後は、速やかに求人先へ電話連絡等を行い、指示を受けて就労して下さい。

○ 家庭教師

家庭教師の紹介は、登録制になっています。

希望する学生は、「家庭教師登録証」の交付を受けてから求職して下さい。窓口での求職の方法は一般業種と同じです。

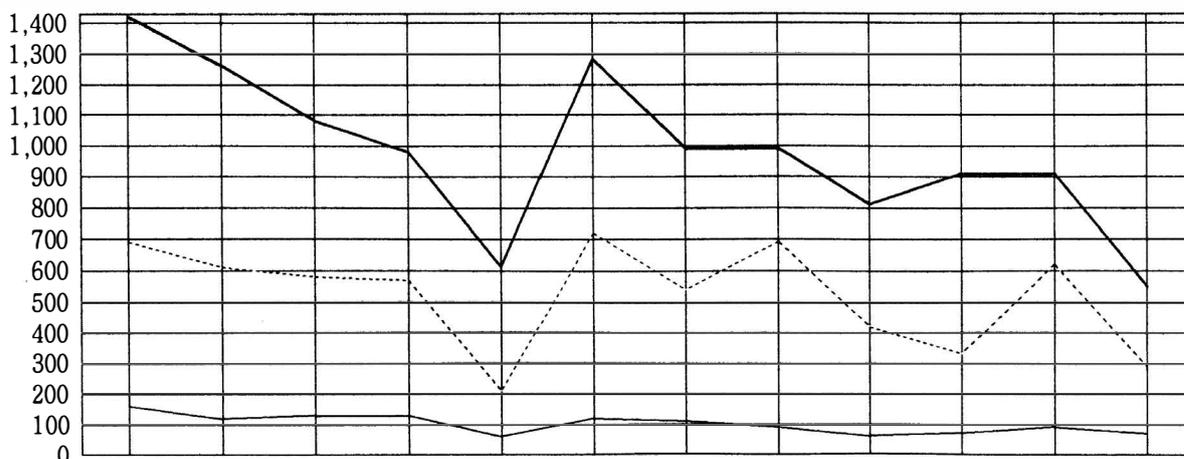
なお、就労にあたっては、次の点に注意して下さい。

- ① 都合により就労できないときは、求人先へ連絡すると共に、奨学係で申込み取消手続きを行って下さい。
- ② 求人先でトラブルが生じたときは、自分だけで処理せず、まず求人先の責任者とよく相談の上、適切に対処すると共に、必ず、奨学係へ連絡して下さい。
- ③ 就労にあたっては、学生としての自覚をもってあたり、社会から信頼を受けるよう真剣に取り組んで下さい。

表 I 職種別アルバイトの斡旋状況及び賃金 平成3年4月～平成4年3月

職種 \ 項目	求人件数	求人者数	紹介者数	具 体 例	賃 金 (円)
家庭教師	137	137	106	家庭教師	時給 小学生の場合 1,500 中学生の場合 1,650 高校生の場合 1,800
学習塾講師	69	427	195	塾の講師	時給 800～4,500
事務	58	445	310	一般事務、宛名書き、校正、電話の対応、文献整理	日給 4,400～12,000
調査	41	745	452	交通量調査、世論調査、客層調査、地温調査	日給 4,400～14,000
重労働	299	3,015	1,712	搬入、搬出、配達、清掃、引越し、洗車、荷造	日給 4,800～24,000
軽労働・軽作業	211	1,971	730	文書の封入、軽度の包装、箱詰、検品、測量、駐車場整理、歯科助手、電子部品組立	日給 4,251～20,000
特殊技能	10	57	42	コンピューターのオペレーター、デモ演奏、翻訳、パソコン入力	日給 5,600～20,000
販売定員	194	1,287	610	マネキン、レジ、ガソリンの給油	日給 4,800～10,000
その他	228	3,760	2,178	受付、デッサンモデル、イベントの手伝い、みこしひき、プールの監視補助	日給 4,444～26,666
合計	1,247	11,844	6,335		

月別求人件数・求人者数・紹介者数の状況 平成3年4月～平成4年3月



項目 \ 月	3.4	5	6	7	8	9	10	11	12	4.1	2	3
求人件数	161	121	134	135	60	122	114	94	68	70	95	73
求人者数	1,428	1,260	1,080	987	610	1,285	998	999	818	915	912	552
紹介者数	692	615	587	575	211	729	544	697	428	337	621	299

学生健康保険組合からのお知らせ

「富山大学学生健康保険組合」は、学生の健康保持及び疾病・負傷（歯科を除く。）の際の治療などに要する経済的負担を、相互に救済することを目的として設けられています。

入学の時に組合費（1年分1,200円。従って、学部学生は4年分4,800円、大学院生は2年分2,400円）を納めた時点から、組合員になります。（平成4年度入学生は99.7%の加入率）

病気などで治療を受けた場合、組合員は病院窓口で自己負担額を支払いますが、この自己負担額を学生健康保険組合へ請求すれば、組合は規約に従い査定のうち医療給付金を支給します。

学生健康保険組合同約は、学生便覧に掲載しています。

◎ 医療費請求手続きについて

医療費の請求は、所属学部（教養部）の学務係・学生係で医療費請求書用紙を受取り、医療機関で所要事項の記入を受け、学生健康保険組合窓口（保健管理センター又は学生部厚生課保健係）へ提出してください。

提出期限は、病気が治癒した日から1カ月以内です。（1カ月以上にわたる病気の場合は、1カ月毎に提出してください。）

◎ 学生健康保険組合理事会について

去る7月14日学生健康保険組合理事会が開催され、昨年度の決算・今年度の予算が承認されましたので、お知らせします。

＜平成3年度学生健康保険組合決算＞

＜預り金＞

収 入 の 部		支 出 の 部	
繰越預り金	10,467,100 円	運営費へ繰入れ金	7,307,200 円
新入生等組合費	7,714,500 円	返 還 金	151,200 円
		預 り 金	10,723,200 円
合 計	18,181,600 円	合 計	18,181,600 円

＜運営費＞

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	8,052,437 円	医療費給付金	5,907,466 円
平成3年度預り金より繰入れ金	7,307,200 円	事務運営費等	1,202,621 円
預 金 利 息	1,261,549 円	翌年度繰越金	9,511,099 円
合 計	16,621,186 円	合 計	16,621,186 円

＜平成4年度学生健康保険組合予算＞

＜預り金＞

収 入 の 部		支 出 の 部	
繰越預り金	10,723,200 円	運営費へ繰入れ金	7,452,000 円
新入生等組合費	7,814,400 円	返 還 金	170,000 円
		預 り 金	10,915,600 円
合 計	18,537,600 円	合 計	18,537,600 円

＜運営費＞

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	9,511,099 円	医療費給付金	7,500,000 円
平成4年度預り金より繰入れ金	7,452,000 円	事務運営費等	1,718,000 円
預 金 利 息	850,000 円	予 備 費	8,595,099 円
合 計	17,813,099 円	合 計	17,813,099 円

学生教育研究災害傷害保険について

この保険は、正課・学校行事・学内施設内での課外活動中の不慮の災害事故にあった場合に補償救済するためのもので、大多数の学生は入学の際に保険掛金を納めて加入しています。

保険対象の事故が発生したときは、事故の日時・場所・状況などを保険機関（財団法人 内外学生センター）に届けねばなりません。

所属学部（教養部）の学務係・学生係で『事故通知』の用紙を受け取り届け出をしてください。

事故の日から30日以内に報告がない場合には、保険金が支払われないことがありますので、注意

ください。

保険責任期間は、卒業学年の3月末日までですが、留年などにより修学年限を越えた場合は、改めて加入して下さい。

不明な点は、学生部厚生課保健係又は所属学部（教養部）の学務係・学生係に問い合わせてください。（厚生課・保健係）

辰口共同研修センターの利用案内

この研修センターは、北陸地区国立大学の学生及び教職員が共同生活を通じて大学間の交流と相互理解を図り、かつ、正課授業及び課外活動における、大学教育の効果をより高めることを目的として設けられた合宿研修施設です。

金沢市の南約23kmの石川県能美郡辰口町の小高い丘陵に位置し、いったいは四季折々の自然に親しむことが出来る研修に最適の地にあります。

収容人数は80人です。

なお、この研修センターについては、学生便覧にも掲載してありますが、学生の皆さんが大いに利用されるようお知らせします。

(1) 利用の範囲

- ① 北陸地区国立大学の学生及び教職員、その他研修センター所長が適当と認める者。
- ② 原則として5名以上の団体で研修計画等を有する者。
- ③ 利用期間は原則として4泊5日以内。

(2) 利用手続

所定の申込用紙により、利用開始2ヶ月前の初日から15日前までに学生課学生係に提出して下さい。

本学から金沢大学学生課へ提出し、研修センター所長の許可を受けることになります。

(3) 利用に要する経費

区 分		料 金
会 費	朝 食	310 円
	昼 食	470 円
	夕 食	620 円
諸経費（1人1回につき）		200 円

(4) その他

黒板、長机、OHP、ビデオ装置等の研修用物品や体育館も整備されています。

その他詳しいことは、直接辰口共同研究センター（(0761)51-4000）へ問い合わせるか、又は学生課学生係にパンフレットが用意してありますので問い合わせして下さい。

（学生課・学生係）

保健管理センターだより

助教授 (カウンセラー) ^{たか}高 ^お尾 テルノ

学生相談室での来談内容は様ざまであるが、最近目立っているのは、「余暇時間の使い方が分からない」「授業以外の時間をどう過ごせばよいか分からない」中には、休講の短時間でありながらその時間をどの様に過ごせばよいか、何処に行けばよいか分からないなど、時間を持余して悩むケースである。(特に留年生、2年次前期花の3期生etc)

彼等の多くは、課外活動に加入せず、アルバイトもしていない。また、友人も少ない。その理由(言い分)は「大学へ学問をするために来ているのであって、車に乗ったり、サークルに入って遊ぶ為に来ているのではない」「高校時代にクラブに加入していたために志望する大学に進めなかった(不本意入学)。勉強して大学院に進むためにクラブに加入しなかった」また、「淋しい! 淋しさに耐えられない!」と言いながら矛盾した様に、友達を持とうとしない。中には、友達欲しいが作れない学生もいる。「友達はいるが、拘束されたり、気遣いするのは真平だ!」「煩わし

い!」と授業中だけの友人しかいない学生もいる。

平成3年度に実施した学生生活意識調査結果を見ると(調査対象:1年生無作為1,211名 実施期日:入学して、半年経った9~10月)

◆現在できればどんな大学生活を送りたいと思っていますか(6項目中)

- 1位 広く教養や知識を身につけたい(41.1%)
- 2位 将来のための学力をつけたい(16.4%)
- 3位 クラブ・特技などもっとやりたい(15.8%)

◆現在の学生生活で一番満足に感じていることはどんなことですか(10項目中)

- 1位 クラブ・サークル活動(23.0%)
- 2位 時間的に余裕がある(自由時間)(21.7%)
- 3位 友人関係(21.5%)

◆大学生活で一番不満に感じていることは(10項目中)

- 1位 授業内容(24.9%) 2位 成績・単位制度(22.5%) 3位 時間的に余裕がない(11.6%)

受験戦争を終えて、ほっとした後の自由に使え

図. 群別生活時間

全 体		A (7)	B (7)	C (2)	D (2)	E (4)	(F)	(G)
課 外 活 動	加入群	(7)	(7)	(2)	(2)	(4)	(1)	(1)
	途中群	(7)	(7)	(3)		(5)	(1)	(1)
	未加入群	(7)	(7.5)	(2)		(5.5)	(1)	(1)
悩 み	A 群	(7)	(7)	(2)	(2)	(4)	(1)	(1)
	B 群	(5)	(7)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
	C 群	(6)	(7)	(2)	(3)	(4)	(1)	(1)
留 学 生		(7)	(7)	(1)	(3)	(4)	(1)	(1)

☆1. A:睡眠 B:講義・演習・実験etc C:クラブ D:アルバイト E:趣味・娯楽・テレビ、ラジオ視聴 F:通学 G:炊事・洗濯etc

☆2. A群:悩みが全くない B群:多少悩んでいる C群:ひどく悩んでいる

☆3. ()中の数字は時間を表わす

る時間的余裕のあることに満足している学生。また、サークル、アルバイトをしている活動的的学生にとっては、時間的余裕のないことを不満に感じているなど様々であるが、前述のケースの学生が増えていることも事実である。

学生達の1日の生活時間はどの様になっているのであろうか。

学期中の週日における1日の生活時間（平均）を生活意識調査結果から、課外活動の加入群、途中群、未加入群、悩みの全くないA群、多少悩んでいるB群、ひどく悩んでいるC群の群別に比較してみると、次図の通りである。（悩みのD群（その他）は少人数のため省いた）

図から、課外活動の加入群は、割に1日の生活時間をバランスよく、有効に使っている。途中群（一度は加入したが、種々の理由から途中でやめた群）は他群に比し、アルバイトの時間、趣味・娯楽の時間が長い。未加入群は、講義・勉強の時間がやや長く、趣味・娯楽、テレビetcの視聴時間も長い。また、悩みのB群、C群は、睡眠時間が他群より短かく、アルバイトの時間がやや長い。（アルバイト、サークルでの対人関係のトラブルなどが悩みの内容になっている）また、B群は、身の回りの事に費す時間が長いことが分かった。

因に、留学生（33名）の1日の生活時間は、サークルの時間は短かく、アルバイトの時間が長いのが他群と異なるところである。私費留学生が多い事からアルバイトの時間が長いのは肯ける。

来談ケースの彼等の生活時間を図から推測すると、悩みのB群、C群の生活時間から、クラブ・サークル（2時間）アルバイト（3時間）の5時間、そして趣味・娯楽などの4時間、要するに5

～9時間の空白時間を考えた時、そこに計画性がないとただ空しく時間が過ぎて行くばかりである。

これからは、週休2日制となり、今まで以上に自由時間が増え、月曜から金曜までのリズムと土曜、日曜のリズムが異なってくる。1日1日目的をもって生きている人は、活気があり、土曜・日曜日に休息をとれば、月曜日は充実した1日を送ることが出来るばかりでなく、例え土曜・日曜日に遊びやサークルで疲れたとしてもなお月曜日には気力を充実させて登校できる。しかし目的に生きるこのできない状況の中では、日々の生活が単調化しているのも、月曜から金曜までの生活リズムと、土曜・日曜の生活リズムが不連続に感じられ、生活リズム障害が起き、月曜病になりかねない。

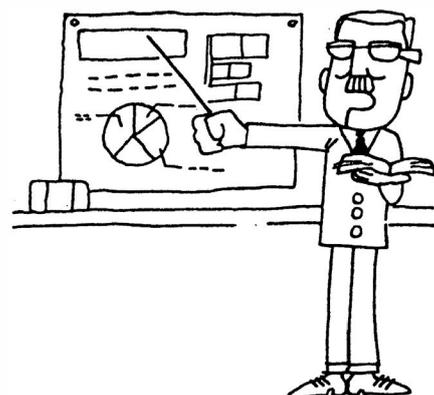
（月曜病は、土曜・日曜日に「何も無い」「何もすることがない」時に起こりやすいと言われている）

生活のリズムは、人それぞれに異なるものです。しかし、ともすればそのリズムも種々の状況によって乱れがちになる。

学生生活にしても決して単純なものではない。

自己の体質、体力などを見定めて、自分に適した生活様式を設計し、リズムを整えていくことが健康生活を保持する上において大切なことである。バランス良い1日の生活リズムを構成することによって、充実した大学生活を送ることが出来、それが生涯の人間形成に結びつくものと思われる。

4年間の大学生時代には、新しい人との出会い、自然との出会い、書物との出会いを大切に、お互いに励まし助け合いながら、常に問題意識を持ち、創造的に大学生活を送って欲しいと思います。



絶えざるチャレンジ精神！ オリンピック連続出場の坂田昌弘氏

今回から、新企画として卒業生に現在の仕事や関心事、学生時代のこと、富大生への希望などをお聞きする「卒業生だより」を掲載することになりました。

第1回目は、ソウルに続いてパルセロナオリンピックのボート競技に出場された坂田昌弘氏（昭和60年経済学部経済学科卒業）にインタビューしました。

ボートを始めたきっかけは？

中学の時野球をやっていたので、高校でも野球部に入りましたが、体が大きいこともあり、親友に「ボートをやってみないか。」と誘われ、1年の7月頃からやり始めました。高校時代は、4人で漕ぐかじ付きフォアに乗り、2・3年の時それぞれインターハイに出場しましたが、2次予選程度の戦績でした。

富大ではヨット部におられましたか？

入学時には富大にボート部はありませんでした。小さい時からクラブ活動をやっていたこともあり、同好会というのはあまり好きでなく、厳しくて強い部を希望し、ヨット部に入りました。

ボートを再開されたのは？

大学2年生の秋、自分はヨット部の副キャプテンをしていたので、リーダー研修会に参加しました。その研修会へ当時の柳田学長が講師として出席され、講演の後の懇親会の際、自分は大きかったので先生の目に止まり「体が大きいな。君みたいな人がボートをやればいいのになあ。」と言われました。そこで、高校時代ボートをやっていたことを話すと、早速、先生は八尾高校のボート部の当時の坂巻監督に「富大にこういう学生がいるが、何とかならないか。」と連絡され、話がとんとん拍子に進みました。先生は、「すぐにでもヨットをやめてボートをやれ。」と言われましたが、ヨット部に迷惑をかけたくなかったので、3年夏のインカレが終わるまでヨット部で活動しました。

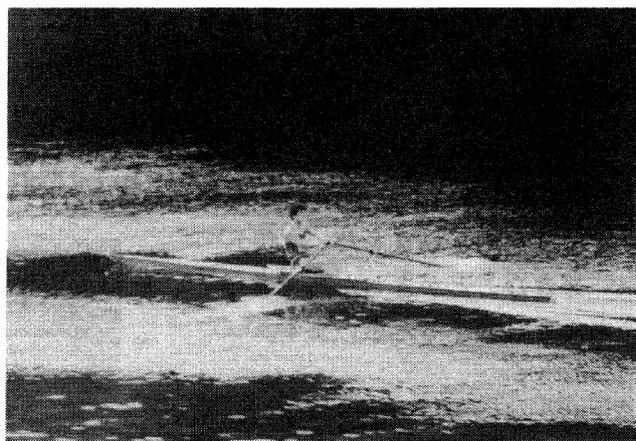
こういう出会いが無かったら、今の自分は無かったらと思うます。

3年生の秋から体力作りのため陸上トレーニングを始め、実際にボートを漕いだのは4年生からです。

最初は何を目標にされましたか？

高校時代、インターハイに出場した時、途中で負けることが悔しくて、どうしても日本一になりたかったことです。

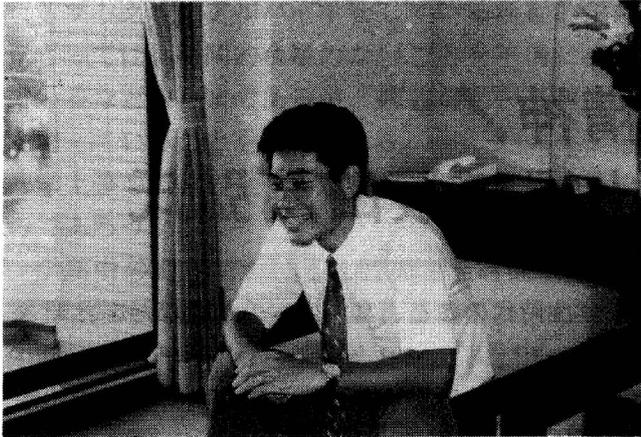
また、なぜ短期間でこれまで力がついたかという、どうしても日本一になりたいという思いと、やりたいというエネルギーがいっぺんに集中できたからだと思います。自分でも生き生きしているのが分かりました。



練習に励む坂田氏

学生時代に苦勞されたことは？

初め、練習相手が少なく練習環境も整っていませんでした。そのうち、午前中は富岩運河で練習できるようになり、午後はバイクを飛



プロフィール

坂田 昌弘 (さかた まさひろ)
昭和37年8月20日生、石川県小松高校出身
(株) インテック総務部勤務
身長 188cm, 体重 78kg

《戦績》

全日本選手権、国体のシングルスカルとダブルスカルで優勝、北京アジア競技大会のダブルスカルで2位、アジア漕艇選手権大会のシングルスカルで2位など数々の優秀な成績がある。

《受賞》

とやま賞、富山県功労者表彰、読売新聞、北日本新聞社、富山新聞社の各スポーツ賞など数々の賞を受ける。

ばして神通川第2ダムへ行けば八尾高校生と練習できたので、あまり苦勞を感じなくなりました。

富大の漕艇部は坂田さんが結成？

はい。どうしてもボートがやりたくて、4年生のときにクラスを回って部員を集め、体育会へもって行きましたが、初めは同好会からしか認められないということで大変悔しかったのを覚えています。後でクラブに昇格しましたが。

クラブ活動と勉強は両立できましたか？

ヨット部はしっかりしていましたし、ボートを始めてからもきちんと目標を持っていたので、だらける暇がなく、試験中もウェイト・トレーニングを欠かさずやりました。柳田先生からも「ボートを漕いでいるからといって留年はするな。」とくぎを刺されました。(笑)

好きなことがきちんとできると、他の面もきちんとしてくると思います。

学生時代に悩みごとはありましたか？

入学した当時、受験競争に負けたという思いから、せっかく入学したのに自信を失いそうになりました。しかし、当時教養部におられた中村、間庭という2人の先生が共通して講義の途中「大学がいやならやめるなり、あるいは図書館へ行って自分で勉強するなりして、自分でア

クティブに働きかけて行かなければいけない。ただ4年間過ごしただけでは何にもならない。」とよく言われ、それから気持ちが割り切れました。

学生時代の思い出に残っていることは？

ヨット部時代、近畿・北陸地区のインカレ(全日本の予選)のスナイプ級で2位になったことと、大学祭の時に何回も池に放り込まれたことです。(笑)

'84年に1人で漕ぐシングルスカルで国体に出場して以来、着実に実力をつけ、'87年に全日本選手権で優勝し、その後数々の国内大会で優勝されてきたわけですが、ソウルオリンピックに出場された時のお気持ちは？

ボートを始めた時は日本一を目指し、全日本で優勝してからはオリンピック選手になることが夢でしたから、ソウルの時は「やったな。」という感じでとてもうれしかったですね。個人競技だったこともあり、まわりを見ずにボートのことだけを考えて頑張りました。

しかし、成績は敗者復活で、世界の壁は非常に高くショックでした。

2人で漕ぐダブルスカルに変わられたのは？

シングルスカルでは世界に通用しないことがわかり、通用するためには、軽量級へ移るか、

多人数で漕ぐものになるかでした。

最初、軽量級へ移ることを考え、減量しましたが失敗しました。そこで、それまでシングルスカルでタイトルを取り合ってきた最大のライバルである阿部さんと組んでダブルスカルを始めました。

’92年から8人で漕ぐエイトに変わられたわけは？

阿部さんと組んだダブルスカルは国内では圧勝でしたが、「シングルスカルやダブルスカルのような人数の少ない種目で世界を目指すのは無理である。エイトの方がいい試合ができる。」という外国のプロコーチの指摘を受けて、日本漕艇協会がバルセロナではエイトで出場することを決めたからです。私はもともと1人が2本のオールを使うスカルをしていましたので、エイトのように1人が1本のオールを使うものに慣れるのに苦労しました。

バルセロナオリンピックはいかがでしたか？

エイトでバルセロナに選ばれた時は、「やったな。」ではなく、「ほっと。」しました。

また、今度は団体競技に変わり、8人で力を合わせなければならないので、違う感じを持ちました。成績は総合13位で、改めて世界の壁の高さを感じましたが、良いレースができたと思います。

これからの目標は？

さしあたっては、山形で開催されるべにばな国体に、しばらくやっていなかったシングルスカルで出場して、よい成績をあげることです。

会社ではどのような仕事を？

株式関係の仕事で、当社の株主名簿の整理、株主総会関係、大蔵省へ提出する資料の作成、社債の管理などです。

なお、会社の社長にもボートに大変理解を示していただいているので、非常に恵まれています。

宮大生についての印象や希望は？

冷めている感じの人が多くので、いろいろなことに素直に感動する気持ちを出せるようになれば良いと思います。

また、意欲を持って自分が熱中できるなにかを見つけ、とことん追求してほしいですね。よく言われることですが、「どこの大学を出たかではなく、卒業するまでの4年間で自分が何をやって来たか。」が一番大切だと思います。そういうものが持てたら、その人はたいへん幸せではないでしょうか。

+++++

インタビューを通して、坂田氏はたとえ困難な状況に置かれても、絶えずチャレンジしていく精神が非常に旺盛なことが印象的でした。

なお、9月上旬に山形県で行われたべにばな国体の成年男子一部のシングルスカルで、坂田氏は優勝し、その後競技生活からの引退を表明されました。



練習の合間のひととき

インタビュー

日時 平成4年8月27日(木)
場所 (株)インテック
聞き手 増田学生部長

ヒガンバナ (Lycoris radiata Herb.) ヒガンバナ科

— 本部横の垣根で咲く —

マンジュシャゲともいう。植物はそれぞれ季節を指標するが、この花ほど正確なものはない。花は秋の彼岸に決まって咲き、人里に日本の原風景を展開する。最近、都市化の影響を受けて生育地が極端に減少した。そのため環境指標植物としても注目されるようになった。

花は数個輪になってつく。花被片は強く反り返り6個ある。おしべも6個ある。花が終わると替わって葉を伸長し、そのまま越冬する。春に再び日光を受けて鱗茎に養分を蓄積する。春の終わりに葉が枯れる。この間、葉と花は顔を合わせることがないのでハミズハナミズの名前もある。

ヒガンバナは、有史前に中国大陸から持ち込まれたと考えられている。中国大陸には結実する2倍体があるのに、日本には不稔性の3倍体しかない。日本の在来種であれば2倍体があってよいはず。たまたま持ち込まれたものが不稔性で、それが日本各地に広がったという見方である。また、生育地が人里に限定されていることもあげられる。有毒であるが、蒸してさらして救荒用とした。漂着説や自生説もある。

はじめにヒガンバナの花は季節の指標性が正確だといったが、私の家では3年ほど前から少し狂ったように見受ける。1週間も早く咲きだすものもあれば、また、昨年

は葉が伸長した後も開花し、11月下旬につぼみをつけたものもある。葉と花が出会うという珍現象が見られた。

本学キャンパスでは、県道富山高岡線に沿った本部横の生け垣の盛土で生育している。彼岸になるとバスの窓から赤い花が楽しめる。

教育学部教授 ^{なが}長 ^い井 ^{しん}真 ^{りゅう}隆



真っ赤に咲いたヒガンバナ

▽▲▽▲▽ 学園ニュース編集委員 ▼▲▼▲▼

学生部長	増田信彦
人文学部	中村雅之
〃	岩井瑞枝
教育学部	呉羽長
〃	原田嘉昭
経済学部	伊藤格夫
〃	長谷川隆

理学部	広岡公夫
〃	鳴橋直弘
工学部	女川博義
〃	長谷川淳
教養部	高安和子
〃	山本孝一